

テーマ：ゴリラ

はじめに：5月頃より、年長クラスにおいて五感を使ったクラス実践があった。耳が聞こえないという人が用いる手話、それは人間だけではなく、ゴリラの **koko(ココ)**が手話を活用しお話ができることができる事例を紹介したところ子ども達はそのKOKOやゴリラにさらに興味関心を持つようになり、7月のテーマはゴリラとなった。

この取り組みは、一つのテーマを元に、くもの巣のように広げて、算数、言語、体育、生活、音楽、美術、等様々な切り口で一つのテーマを掘り下げることが大事にしている。イタリアのレッジョ・エミリアの方法論の要素を取り入れクラスを構成している。

授業内容：今回は4分野よりゴリラを彫り上げていく。算数、生活一般、言語、美術となる

以下、各分野の掘り下げる視点

算数：ゴリラの身長サイズ／体重

生活一般：食べ物、ゴリラの習性

言語：ゴリラの本を作ろう

美術：グループ活動を通して、ゴリラを作る

結論・最後に

この3週間続いた学びの中で、子ども達はゴリラを通じて、自分とゴリラの身長さを感じ、どこにゴリラが住んでいるのか、世界地図を通じて世界観が広がり、ゴリラの生態（ベジタリアン、毎日寝るところが変わることなど）についても興味深く学んでいた。ゴリラを数的にとらえ、本を作り、最後に自分たちなりのゴリラを表現してみようということになった。